

春の花と虫たちと子どもたち（森のようちえん楽校）

- 1 日 時：平成29年5月5日（金・こどもの日）
午前の部 11：00～12：00
午後の部 13：15～14：15
- 2 場 所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：36人（大人20、子ども16）
- 4 講 師：大石橋 節子さん（自然観察指導員の会）
- 5 主 催：福井県自然保護センター、福井県里山里海湖研究所
- 6 イベントのようす：



サイコロの目と同じ色の生き物を集めよう！



皆で川をわたりました



ジムグリヘビの皮膚はなめらかでした

とてもよい天気の中、生き物が大好きな親子が集まりました。大石橋節子さんの元気いっぱいの進行のもと、森のようちえん楽校の始まりです。

午前中のコースでは、全員でネイチャーゲームを楽しみながら妻平湿原まで歩きました。まずは、広場で6色サイコロをふり、出た目の色と同じ色の生き物を集めてくるゲーム。たくさんの植物を集めることができ、自然には様々な色の植物があることを学びました。そして、「いつでもどこでもビンゴカード」を手に散策開始。カードに描かれている自然の宝ものを「きく」「みる」「さわる」「かぐ」など五感を使って探します。子どもたちはバグバグウォッチャー（虫眼鏡つき虫かご）を手に、虫やカエルをつかまえて観察したり、川をわたる体験をしたり。ゴールでは、皆がたくさんの自然の宝ものを見つけることができていました。

午後の部は自然保護センター前～どんぐりの小径～妻平湿原～せせらぎの小径と、たっぷり歩きました。生き物が大好きな子供たちは、ジムグリヘビに興味津々。お腹の模様を観察したり、そーっと触ってみたりしていました。大人の参加者も、クロモジのさわやかな香りを楽しみ、その効能について学んだり、樹木から出るフィトンチッドという成分により森林浴はリラクゼーション効果があるという話を聞いたり、たくさんのことを知る事ができました。ミチノクフクジュソウやミツガシワなど、森のあちこちで春の草花を楽しむこともでき、たくさんの発見があった“森のようちえん楽校”でした。